


討論を聞き、テーマに対する自分の考えを書こう

～聞いた討論を整理して自分の考えの構築に生かす～

発行
令和5年3月
中部教育事務所



南州市立北陵中学校 教材 第2学年 「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」 (光村図書『国語』2)

単元で達成したい目標
 ◇情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使う力(※1) [知識及び技能] (2)イ
 ◇論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力(※2) [思考力・判断力・表現力等] A(1)工
 ◇言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度(※3) [学びに向かう力、人間性等]

授業の概要 重点指導事項 A 話すこと・聞くこと(1)工
 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。

本単元では「社会的なテーマで討論をする」という言語活動を設定した。あらかじめ、アンケートをとって生徒の興味や関心を把握したうえで、討論に適したテーマを教員が設定した。学校の課題でもある「聞くこと」に関する課題改善のための単元を立てた。学級全体を「討論参加者」と「参観者」に分け、討論の過程をメモすることに重点を置いた。テーマは、授業者がグループごとに割り振るが、事前に二つのテーマに対する自分の考えを書いている。単元ゴールは、討論を聞き、他者の考えと比較して自分の考えをまとめることである。

単元計画 (全6時間)

第1時 討論の目的と学習課題を確かめ、単元の見通しを立てる。
 ・自分が観察する討論のテーマについて、自分の考えを簡単に書く。
 ・討論のテーマに関する情報を集める。

第2時 前時に集めた情報から、意見の根拠を個人でまとめる。
 ・情報と根拠を班で共有し、ドキュメントに入力して提出する。

第3時 メモのモデルを確認し、討論の流れをメモに整理する方法や工夫について共有する。

第4時 討論参加のグループは、テーマAの討論を行い、参観者は討論を観察してメモを取り、自分の考えを広げる。
 ・討論後、メモを共有して工夫や改善点を考える。改善点を意識しながら、録画した討論を見て、再度メモをとる。

第5時 **本時**
 ・メモを生かして、話し合われたテーマについての自分の立場と根拠を書く。
 ・討論参加者は、テーマBの討論を行い、参観者は討論を観察してメモを取り、自分の考えを広げる。
 ・討論後、メモを共有して工夫や改善点を考える。改善点を意識しながら、録画した討論を見て、再度メモを取る。
 ・メモを生かし、話し合われたテーマについて、自分の立場と根拠を書く。

第6時
 ・前時に作成したメモを基に、観察した討論のテーマについて、自分の考えを文章にまとめる。
 ・自分の考えをまとめた文章を共有する。
 ・単元を振り返る。

本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の振り返りを共有し、本時の課題をつかむ。 前時の討論を振り返り、工夫の見えるメモを電子黒板に写して共有し、本時の見通しをもつ。	・テーマAの討論のメモについて、どのような内容をどのように記入すれば単元ゴールの自分の考えをまとめるために役立つかを振り返らせる。その気づきを基に本時のメモをとらせる。
2 テーマB「部活動の地域移行」で討論を行う。 討論参加者と参観者に分かれて討論を行う。それぞれ、ワークシートにメモをとる。	・単元ゴールを確認し、本時とのつながりを考えさせる。 ・前時の振り返りを生かして、メモをとることを意識させる。
3 討論のメモを振り返る。 参加者、参観者、それぞれのグループで討論のメモを共有し、工夫や改善点を考える。	・記号等を効果的に用いて、情報と情報との関係を分かりやすくまとめているかを確認させる。
4 改善点を意識しながら録画した討論を確認し、メモをとる。 新たな気づきや聞き洩らした情報を書き足す。	・共有での気づきを基に、討論の際に聞き取れていなかった必要な言葉を補ったり、情報と情報との関係を記号でつなげたりさせる。
5 学習を振り返る。 メモを生かして、話し合われたテーマについての自分の考えを書く。	・討論参加者と参観者それぞれの振り返りを共有したうえで、個人で本時の学習を振り返らせる。

授業研究会のポイント

時間	学習過程と指導事項
1	ア 話題の設定、情報の収集、内容の検討 ↓ ③ 振り返り(※1)
2	ア 話題の設定、情報の収集、内容の検討 ↓ ③ 振り返り(※1※2)
3	工 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有(聞くこと) ↓ ③ 振り返り(※1※2)
4-5	イ 構成の検討、考えの形成(話すこと) ウ 表現、共有(話すこと) 工 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有(聞くこと) オ 話し合いの進め方の検討、考えの形成 ↓ ③ 振り返り(※1※2)
6	工 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成 共有(聞くこと) ④ 単元ゴール ⑤ 振り返り(※3)

①言語活動の設定
 重点指導事項 A「話すこと・聞くこと」(1)工
 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

言語活動
 「社会的なテーマで討論をする」
 (授業者が意識したこと)
 言語活動を必然性のあるものにする

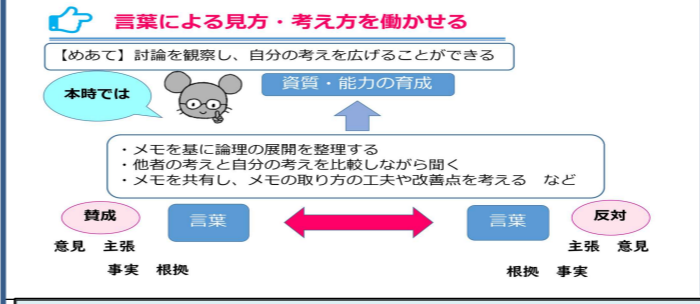
テーマ設定の工夫
 ・事前(単元計画を立てる前)にアンケートをとる。
 ・教科会で、アンケート結果から生徒の興味の概要を把握する。
 ・教科会で討論に適したテーマをピックアップして、予想される討論の展開を考える。

他に、このような回答も…
 ・公共の場所でのマスク着用
 ・制服の男女共通化
 ・同性婚 等

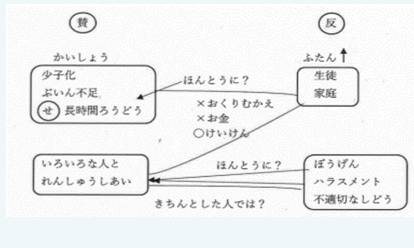
授業者が生徒にテーマを割り当てる。本単元では、次の2つのテーマを設定し、「賛成」と「反対」の立場に分かれて討論を行う。
 A 全国旅行支援
 B 部活動の地域移行

テーマが割り振られる前に、あらかじめ全員がそれぞれのテーマについて、現段階での自分の立場と意見を書いておく。

本単元は、「話すこと・聞くこと」の領域であり、言語活動は討論を行うが、生徒の実態から、「聞くこと」に焦点を当てて単元を作っている。そのため、指導事項A(1)工を複数回繰り返すことで、育成したい資質・能力の着実な定着を図るための工夫をしている。



②本時で働く見方・考え方とは
 本時で働く見方・考え方は、討論をしながら論理の展開に即したメモをとったり、自分の考えと比較したりして、必要な情報をメモしている姿、また情報と情報との関係を記号等で関連付けたりしている姿である。



振り返りを授業改善に生かすために

(1) 単元で付けた資質・能力を明確にする
 (2) 単元及び本時(4/6)で付けた資質・能力を身に付けた生徒の姿を具体的に想定する

引き出したい振り返り

付けた力を付ける方向に向かっているでしょうか

感じたこと
 気づかせたいこと
 今後に生かせること
 自分の考えを広げている

今日の討論では、事前に調べた厚生労働省の情報を根拠に、適切に根拠を示して自分の主張をすることができたと思います。驚いたことは反対側の主張をしていたBさんの根拠が私と一緒にあったことです。私と反対の主張だったのに根拠が同じということもあるのだと分かりました。これからは、話し合いのときは友達との考えと比較しながら聞き、自分の意見を主張するときには出所が信頼できる正しい情報を根拠として、説得力を持たせられるように工夫したいと思います。

反対の立場の人と話し合いができるのはよいことだなと思いました。自分とは考え方の違う人と意見を交換したら、また違う考えをもてし、反論を考えることが話し合いが深まったと思います。
 ・今回、討論をしてみて、相手の意見で納得できたことがあったので、それを認めることも大切だと思いました。あと、もっと他の人にも分けて話させたらよかったと思います。それから、討論をするときには、やはりもっと資料が必要だとも思いました。

(3) 指導・改善に生かす (授業改善及び個別支援)

【記述の見取り】○自分の考えと比較しながら聞いている。▲反論を考えることや、根拠としての資料の必要性に気づいているが、まだまだ抽象的。
 【指導・改善】自分の意見に説得力をもたせるための資料とはどのようなものか、また反論を想定することの意味等について既習を振り返り、考えさせる。(5/6)
 ・論理の展開を整理するためのメモの取り方を再度確認する。(5/6)

③振り返り
 1時間ごと(毎時間)の振り返り

〈教師にとっては〉
 単元で付けた資質・能力を付けられる方向に向かっているかなど、生徒の学習の定着状況を把握し、指導改善に生かす。

〈生徒にとっては〉
 自身の学びを振り返り、メタ認知するとともに次の学びへの意欲・改善につなげる。

〈教師、生徒ともに〉
 単元で付けた資質・能力を付けられたのか、どの段階でどんな気づきや発見があり、どのように考えが変化したのか等を把握する。

④単元ゴール(観察したテーマに対する自分の考え)

私は「公共の場でマスクは着用すべきだ」という意見に賛成である。賛成する理由は二つある。一つ目は公共の場には重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のある人もいる可能性があり、その人たちに感染しないように予防する必要があるからだ。二つ目は、県内の感染者が一日に五百人を超えることもあり、救急車の出動が間に合わなかったり、病床が足りずに治療が十分にできない病院も増えたりしているからである。反対する人は、海外ではすでにマスク着用を義務化していない国も多く、アメリカではそれにより感染者が増加することはなかったという。しかし、国によって状況は違い、イギリスでは爆発的に増えたこともあるので、海外と比較することはできない。よって私は「公共の場でマスクは着用すべきだ」という意見に賛成である。

※今後は、本単元で付けた力を他教科等、様々な日常の場面で繰り返し使いながら、定着させていくことが大切です。